

みんなの 美術館

「コスモス」

Our Art Museum

2025.10.4(土)→12.23(火)

●会場：天領日田資料館（日田市豆田町11-7）

●時間：午前9時～午後5時 ●休館日：毎週水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）

●入館料：大人 320円 小人（小中高生）220円 団体(15名以上)大人270円 小人（小中高生）150円

※展示会の開催による「入場料」ではありません。天領日田資料館の通常の入館料です。

主催：日田市、日田市教育委員会 共催：日田市観光協会 監修：原茂樹（日田シネマテーク・リベルテ）

問合せ：天領日田資料館 ☎0973-24-6517 日田市文化スポーツ振興課 ☎0973-22-8442



香月泰男『コスモス』

ご挨拶

「芸術の秋」と言うが、なぜそう呼ぶのだろう。

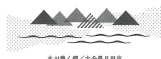
100年以上前の1918年に発行された雑誌『新潮』の中で「美術の秋」という記載があったこと、そして秋には日本を代表する大規模な展覧会が集中していたこと、さらに、過ごしやすい季節は芸術を“製作する側”も“鑑賞する側”も集中できることなどを踏まえて「芸術の秋」と呼ばれるようになったという。この100年で気候も大きく変わり、秋が短くなった今、この過ごしやすい季節自体も次第に貴重なものになってゆくのかかもしれない。

そんなことを思っていると、今年も無事に秋が来てくれた。秋は恒例「みんなの美術館」の季節でもあるからこそ、コスモスを展示したいと思い至った。漢字で秋の桜と書く花だ。元々は「あきざくら」と呼ばれていたものだが、山口百恵の歌『秋桜（コスモス）』のヒットからそう定着したとも言われている、可愛い花だ。

さらに個人的に尊敬している山口県出身の画家・香月泰男が描いたこのコスモスはとても素晴らしく、いつかメインで展示したいと思っていた。しかし小さな作品なので、できる限り近くで観てもらいたく平置きでしか展示したことがなかった。この作品を、壁に展示した時の魅力を感じたくて、今年のメイン作品にした。

香月泰男は、シベリア抑留の体験が浮かび上がる全57点の大作「シベリアシリーズ」が代表作である。私もその作品を目の前にして、動けなくなるほどの衝撃を受けたひとりだが、その他に暮らしの中から生まれる素描や、廃材から生み出す「おもちゃ」からは、この日常に心から感謝するような眼差しが見て取れて大好きな作家である（ぜひ山口県にある香月泰男美術館にも足を運んでいただきたい）。そして、おそらくこの作品は日田市が所蔵する芸術作品の中でも最も評価額の高い作品のひとつだが、そんなことより、なぜ彼がこの作品を描いたのか、彼にこの花を描かせたものは何か？などを想像しながら、向き合っていただけると香月さんも喜んでくれるのではないかと思います。そして、道端で赤い花を見つけた時には、この作品や作家のことも思い出して欲しいと、そう思うのです。

監修：原茂樹(日田シネマテーク・リベルテ)



みんなの美術館 2025. 10.4^土→12.23^火

- ◎会場：天領日田資料館（日田市豆田町11-7）
 - ◎時間：午前9時～午後5時 ◎休館日：毎週水曜日（水曜日が祝日の場合はその翌日）
 - ◎入館料：大人 320円 小人（小中高生）220円 団体（15名以上）大人270円 小人（小中高生）150円
- ※展示会の開催による「入場料」ではありません。天領日田資料館の通常の入館料です。

主催：日田市、日田市教育委員会 共催：日田市観光協会 監修：原茂樹(日田シネマテーク・リベルテ)
 問合せ：天領日田資料館 ☎0973-24-6517 日田市文化スポーツ振興課 ☎0973-22-8442